

第 5 回 教育委員会会議録（要点）

日時	平成 31 年 4 月 10 日（水）午後 4 時
場所	庁舎第 3 別館 2 階 会議室
出席委員	教育長 八木良二、委員 篠宮博幸、委員 西原梨乃、 委員 仁志川 由香里
欠席委員	委員 村上浩一
会議に出席した者の職・氏名	事務局長 林秀樹、総務課長 村上誠二、 学校教育課長 田坂敏、社会教育課長 神野秀夫、 文化振興課長 富田義勝、スポーツ振興課長 松本典久、 学校給食課長 塩見慎一郎、総務課長補佐 森松秀生
傍聴人	なし
議題	その他 人事異動により職員の交代があったことを報告する。 (新任教育委員及び職員全員で自己紹介を行う。)
八木教育長	午後 4 時 2 分、開会を宣す。
八木教育長	日程番号 1、第 3 回会議録を承認してよいか問う。
—各委員—	承認する。
八木教育長	日程番号 2、会議録の署名委員に、篠宮委員、西原委員を指名する。
八木教育長	日程番号 3、教育長報告を行う。 まず第 1 点目に、去る 3 月 26 日に、藤井委員さんが退任されたことにより、教育長職務代理者が空席となりましたので、3 月 27 日に村上委員の同意を得て、村上委員を職務代理者に指名いたしましたので、ご報告します。 今回は、お配りしております文書をもって教育長報告に代えさせていただきます。さて、小中学校の始業式、入学式も

無事終わり、新年度が本格的にスタートいたしました。

新年度初めての定例教育委員会となります。よろしくお願いいたします。3月8日の定例教育委員会以降に出席した主な行事、また、4月出席予定の主な行事を記載し、教育長報告とさせていただきます。

1 報告（第4回教育委員会以降の主な行事等）

- 3月11日（月） 市議会本会議（質疑・一般質問）
- 3月12日（火） 市議会本会議（質疑・一般質問）
- 3月15日（金） 中学校卒業式、バイキング給食（日高小）
JFAアカデミー2期生卒校式
- 3月20日（水） 市議会委員会審査（教育厚生委員会）
市防災会議
- 3月22日（金） 小学校卒業式
- 3月25日（月） 小・中学校修了式
今治北高大三島分校振興対策協議会
- 3月26日（火） 教育委員会教育委員、管理職員等懇親会
- 3月27日（水） 今治少年少女合唱団・ロシアコーラスグループ
「カプチーノ」交流
図書館運営審議会
- 3月28日（木） 市議会本会議（委員長報告、表決等）
- 4月3日（水） 校長会
- 4月8日（月） 小・中学校始業式、小学校入学式
- 4月9日（火） 中学校入学式
- 4月10日（水） 定例教育委員会

2 4月（今後の）予定

- 4月12日（金） 公民館長会、人権教育協議会
- 4月14日（日） 追悼式
- 4月18日（木） 学校栄養士会
- 4月19日（金） 連合婦人会定期総会
- 4月20日（土） 愛媛県教育研究協議会今治・越智支部総会
- 4月21日（日） 公民館行事（別宮公民館祭、近見住民運動会）
緑化フェア2019
- 4月24日（水） 今治美術家作品展开展式
- 4月26日（金） 四国都市教育長連絡協議会
- 4月27日（土） 退職公務員連盟総会
- 4月28日（日） 公民館行事（日高住民運動会）

最後に、3月議会の報告をいたします。

3月8日一般質問において、丹下大輔議員から「コミュニティ・スクール」について、「導入に向けた本市の状況、進捗状況について」「今後の展望について」の2点質問があり、私から答弁いたしました。1点目の「本市の状況、進捗状況について」では、今治市学校運営協議会に関する規則の制定、保護者・地域住民向けの啓発リーフレット作成と周知理解をはかっていること、常盤小、波止浜小、玉川中の3校を研究モデル校に指定し導入を前提とした調査研究の推進をおこなっていること、その中では学校と保護者・地域の代表とで、目標やビジョンを話し合い、学校運営協議会規約の検討、協議会委員の人選など学校運営協議会設置に向けた準備に入った学校もあることをお答えしました。

2点目の「今後の展望」については、平成31（令和元）年度、新たに研究モデル校を3校追加指定し、先行研究している3校とともに調査研究していくこと、そして、研究モデル校指定の有無を問わず、準備が整った学校から学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールを導入することを述べ、答弁いたしました。

3月11日には、渡部豊議員から、夜間中学の新設に関して、不登校や学びの機会を逃し十分な教育を受けられなかった現状を把握しているかと、外国人の日本語教育も含めた幅広い学びの機会を提供する夜間中学の設置に取り組む必要があるのではないか、との質問があり、次のように答弁いたしました。

まず、1点目の現状については、文部科学省が作成した「夜間中学の設置・充実に向けて」の手引きにより、『学齢を経過したもののうち義務教育を修了していないいわゆる未就学者』は、本市には45名いると把握しているとお答えしました。2点目の設置に取り組む必要については、政府が、都道府県で少なくとも1校の設置を進めているが、設置しているのは平成30年度現在、8都府県31校であることから、国県の動向を注視しながら研究していく、という答弁でご理解いただきました。

3月12日には、谷口芳史議員から いじめ、自殺相談について、SNSなどを使った相談事業が導入された場合の体制を検討すべきと思うが、考えはどうか、という質問があり、SNSを使った相談の先進事例によると、電話よりも相談件数が増えるなど効果がみられるものの、電話相談と異なる課題も考えられるので、先進事例を参考にしながら研究していくと答えました。

私の答弁は議会関係では以上です。

林事務局長

3月議会で私も質疑に答弁を行いましたので、報告いたします。

3月8日、山岡健一議員から「平成31年度今治市一般会計予算の歳出10款1項3目島しょ部高校教育振興費について」3点のご質疑

がございまして、私から答弁をいたしました。その概要を報告させていただきます。

まず、1点目のご質疑は、「事業提案の経緯」でございました。

これに対しましては、今治北高校大三島分校と今治西高校伯方分校の高校存続への地域の方々の強い思いに応え、地域の学校を守り、教育の振興・地域の活性化のため、何らかの支援ができないかというところから検討をはじめ、PTAなど地元の方々からは、島外からの入学者増加のため、下宿代や通学費等への補助ができないかのご要望もいただき、予算計上した旨答弁いたしました。

2点目のご質疑は、「大島、伯方から今治北高校大三島分校へ通学すること、大島、大三島から今治西高校伯方分校に通学することは検討したのか？」ということでした。

これに対しましては、通学費の助成対象は島外からの通学を想定し、島内の通学費を上回る部分を助成対象としようと考えていること。実際の入学者の下宿者数や通学の状況等が決まっていないことから、具体的な助成内容は、今後検討していく旨答弁いたしました。

3点目のご質疑は、「新2年生、新3年生、所謂在校生を助成対象としない理由」でございました。

これに対しましては、今回の予算は、新規入学者数を確保し、学校を存続させるための支援策であることから、平成31年4月以降の入学生を対象としている旨答弁いたしました。

以上の答弁に対し、山岡議員から「島しょ部から島しょ部の高校へ通う場合も高額な通学費がかかることを認識しているのか」という再質疑がございまして、通学費の助成については、大島から伯方高校や大三島高校に通学する生徒も含め、島外からの通学を想定しているが、予算のこともあるので、実際の入学者の状況等を確認しながら、具体的な助成内容を検討していく旨答弁いたしました。

以上で報告を終わります。

八木教育長

本日は、議案がないので、その他を、議題とする。「平成31年度教科書採択について」、説明を求める。

田坂学校教育課長

－「平成31年度教科書採択について」説明－

篠宮委員

小・中学校教科書の採択の手順のところでは、5月中旬頃までには教育委員に教科書を配付となっているが、小学校については全教科書全く新しい教科書に、中学校については1年間今までの教科書が使われるということですが、できるだけ早く見せていただきたい。現在中学校で採択している教科書がどれなのかも教えてください。

田坂学校教育課長	できるだけ早い段階で、教育委員さんにお渡ししまして、現在の使用教科書の一覧表をお付けしてお配りしたいと思います。
八木教育長	「今治市子ども読書活動推進計画の指標の報告について」、説明を求める。
神野社会教育課長	ー「今治市子ども読書活動推進計画の指標の報告について」説明ー
八木教育長	アンケート調査の6校抽出は、3か年同じ学校でしょうか。定点観測ですか。
神野社会教育課長	同じ学校でございます。
八木教育長	6校による差は明らかにされていないでしょうか。学校名は結構です。
神野社会教育課長	平成29年推進計画の読書アンケートのページがアンケートそのものです。その次に、採集データとして、小学校3校と中学校3校のデータが出ています。資料につきましては、学校の児童生徒数の大・中・小で、規模の違う学校を網羅しているところです。
八木教育長	午後4時30分、閉会を宣す。

以上、会議の次第を記し、その相違ないことを証するため署名する。

篠宮委員

西原委員